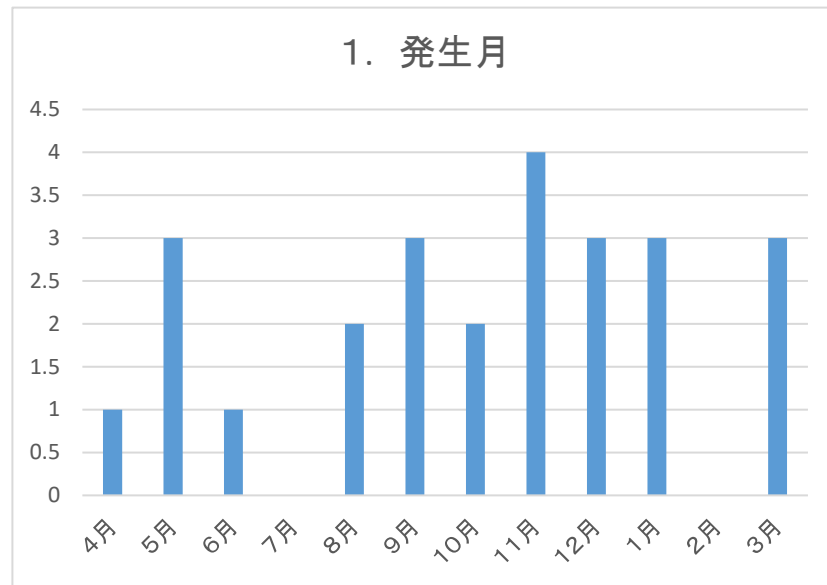


令和2年度 介護保険指定事業者における事故報告(集計・分析結果)について

令和2年4月1日から令和3年3月31日までの期間に、三股町に報告のあった介護サービス事業所、老人福祉施設等における事故報告の集計結果を報告します。今後の事業運営及び介護事故防止にご活用ください。

1. 発生月

月	件数
4月	1
5月	3
6月	1
7月	0
8月	2
9月	3
10月	2
11月	4
12月	3
1月	3
2月	0
3月	3
合計	25

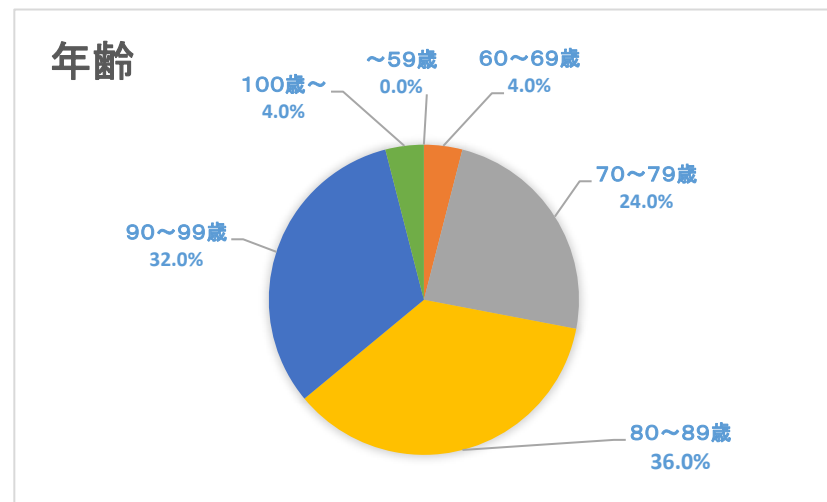


発生月別では、11月が4件と最も多くなっています。

事故発生から1カ月以上経ってから報告されているケースがありました。事故が発生した場合は、すみやかに三股町まで報告をお願いします。

2. 年齢

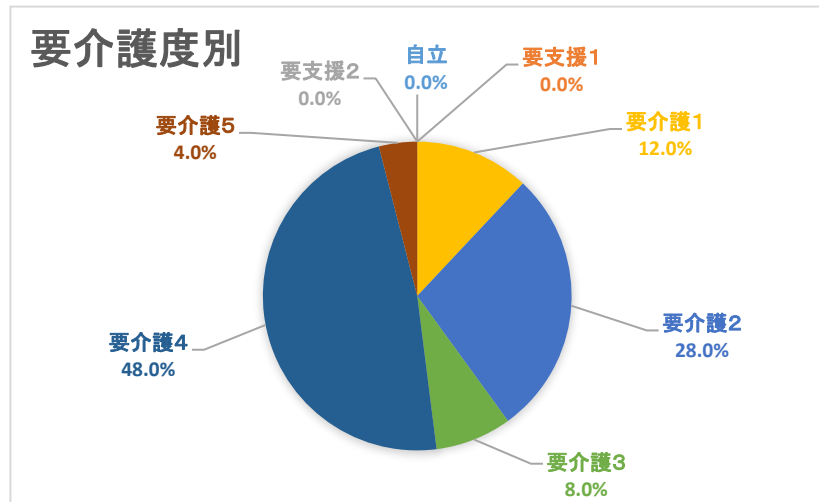
年齢	件数
～59歳	0
60～69歳	1
70～79歳	6
80～89歳	9
90～99歳	8
100歳～	1
合計	25



70歳代～90歳代の利用者の事故が多くなっています。一方で70歳代より若い年齢層の事故はほとんどありません。

3. 要介護度別

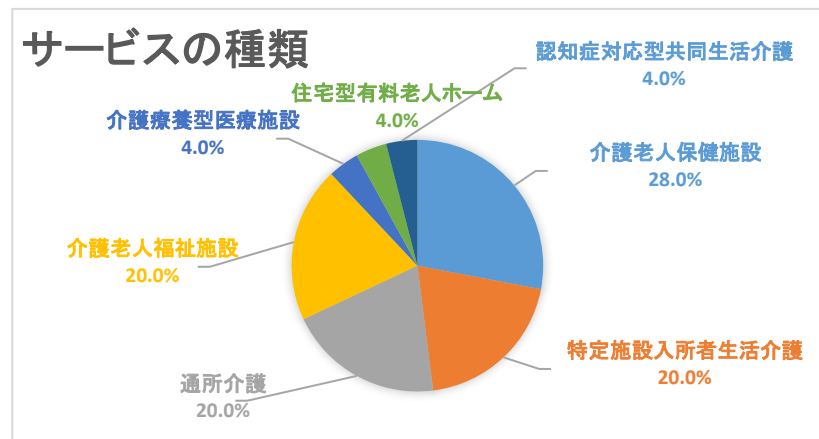
要介護度	件数
自立	0
要支援1	0
要支援2	0
要介護1	3
要介護2	7
要介護3	2
要介護4	12
要介護5	1
合計	25



要介護4が最も多く(48.0%)、次いで要介護2(28.0%)の順で多くなっています。一方、要支援1及び2の利用者の事故は0となっています。

4. サービスの種類

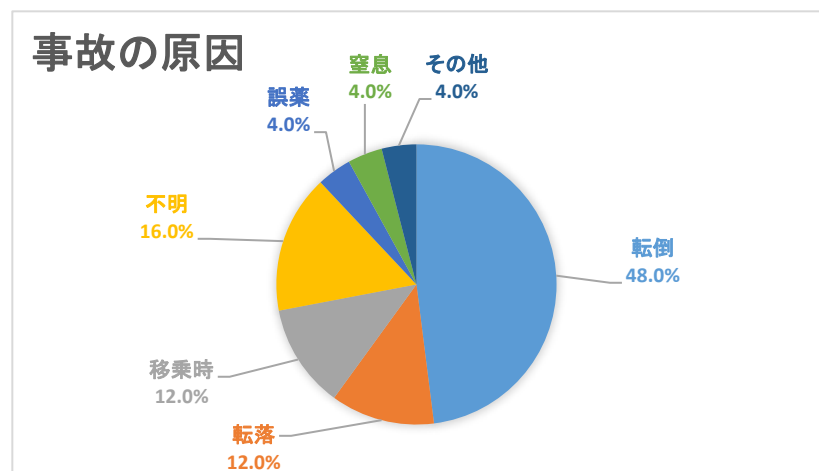
サービス種別	件数
介護老人保健施設	7
特定施設入所者生活介護	5
通所介護	5
介護老人福祉施設	5
介護療養型医療施設	1
住宅型有料老人ホーム	1
認知症対応型共同生活介護	1
合計	25



サービスの種類ごとの件数は、介護老人保健施設が最も多くなっています(28.0%)。また、入所系サービスと通所系サービスに分けてみると、入所系サービスでの事故が20件(80.0%)、通所系サービスが5件(20.0%)と圧倒的に入所系サービスでの事故が多くなっています。

5. 事故の原因

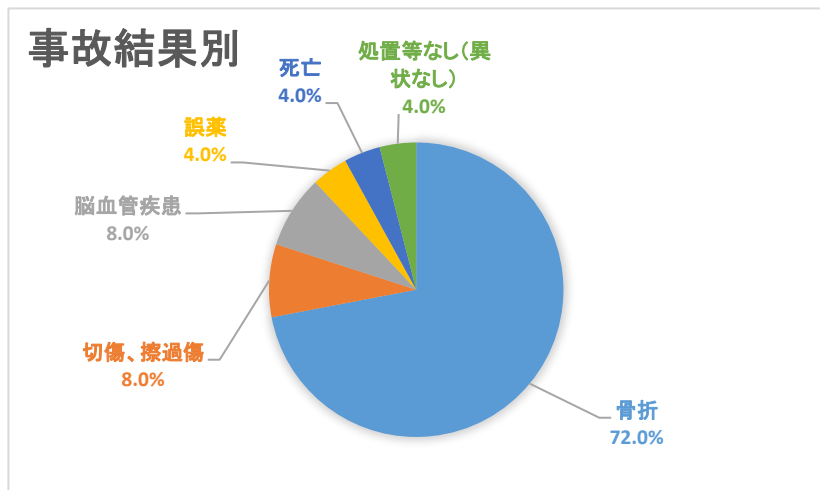
種類	件数
転倒	12
転落	3
移乗時	3
不明	4
誤薬	1
窒息	1
その他	1
合計	25



事故の原因としては、転倒が12件と最も多く発生しています(48.0%)。これらの多くは職員の付き添いが無い時に発生していますが、付き添い時に職員が少し離れた際に発生した事例も見られます。再発防止策として、福祉用具の変更、支援方法の変更、職員が離れる時はベルを渡す等の対応がとられています。

6. 事故結果別件数

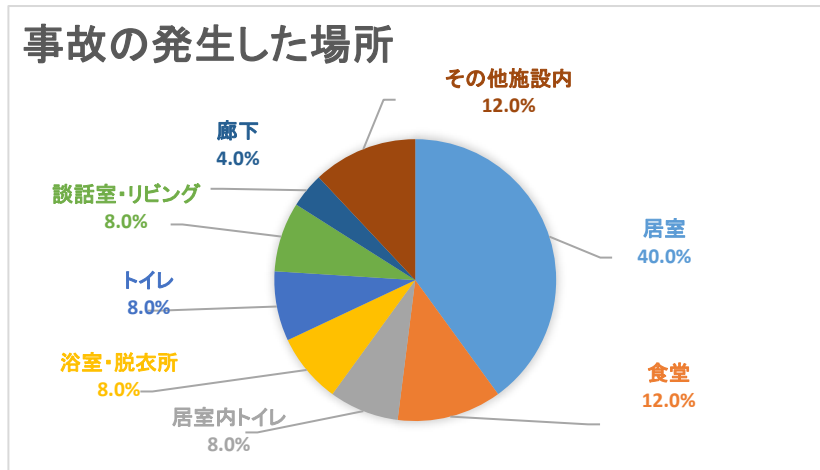
種類	件数
骨折	18
切傷、擦過傷	2
脳血管疾患	2
誤薬	1
死亡	1
処置等なし(異状なし)	1
合計	25



事故による結果は、「骨折」が72.0%、次いで「切傷、擦過傷」及び「脳血管疾患」の順となります。また、「処置等なし(異状なし)」とは、転落等が発生したものの結果的に外傷等が無かった事案となります。

7. 事故の発生した場所

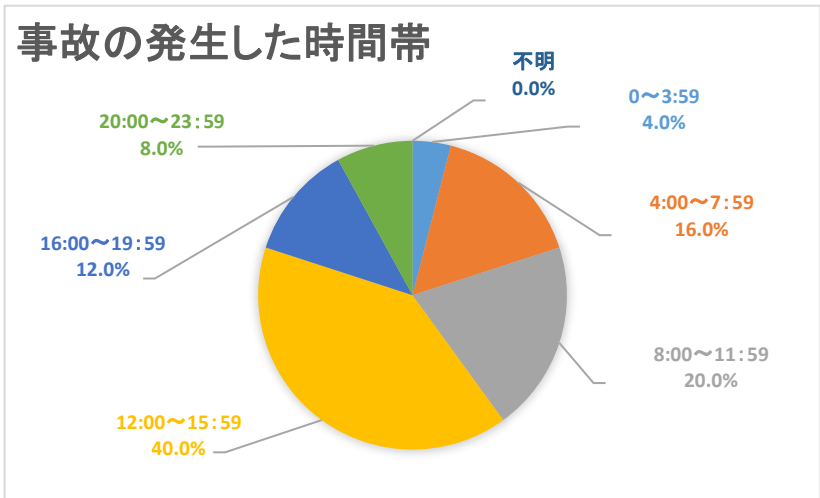
場所	件数
居室	10
食堂	3
居室内トイレ	2
浴室・脱衣所	2
トイレ	2
談話室・リビング	2
廊下	1
その他施設内	3
合計	25



事故の発生した場所は、居室内が一番多くみられました。利用者が自ら行動しようとした結果、事故が発生するケースが多いようです。

8. 事故の発生した時間帯

時間帯	件数
0~3:59	1
4:00~7:59	4
8:00~11:59	5
12:00~15:59	10
16:00~19:59	3
20:00~23:59	2
不明	0
合計	25



事故の発生した時間帯としては、利用者が活動する日中が多くなっています。多くが介護職員の付き添いのない場面で発生しており、事業所等は、見守り強化、人員配置や座席配置の変更等を検討し再発防止に努めています。